

小島区災会訓練が行われました。

平成26年8月3日(日)小島区防災訓練が、119人の区民の参加を得て行われました。訓練は、8時に同報無線により災害発生情報が流され、一時(いっとき)避難所への避難から始まりました。



一時避難所へ集まった人たちは、区長の指示に基づいて一次(いちじ)避難所の社会体育館に集合しました。

一次避難所では、団体ごとの確認訓練が行われ、参加者は119人と報告がありました。

引き続き朝日区長から、今回の訓練を通じて、突発的な災害時の被害を最小限に抑えるため、自助・共助の精神での避難・防災、そして、公助のスムーズな受け入れを訓練する旨の説明がありました。



奥山防災指導員からは、訓練の概要と、訓練によって求める内容について具体的な事例に基づいた説明が行われました。



中央消防署柳原分署の署員のみなさんからの指導により、消火訓練が行われました。
まず、家庭用の消化器の説明です。

消火器が古くなってはいませんか？
消火器は部屋の入り口や出口に置いてください。
使った消火器の中身は、必ず補充してください。

いざという時に使えるように、普段気が付かないところへの注意が必要です。



消火器を使う時の注意事項は
コックを抜いて
筒先を持って
レバーを握って
狙うところは火の上ではなく、
下を掃くようにして
徐々に火元に近づき狙うこと。

訓練で実際にやってみることが重要です
ね。



体育館内では、常会ごとに集合して員数確認が行われました。
員数報告は団体確認訓練と同じ119人でした。

当然と言えば当然ですが、みなさんが整然と参加していたことの証でもあります。



人工呼吸・AED取り扱いの実習では、消防署のみなさんの具体的で丁寧な指導に、参加者は納得したり勉強になったり・・・

やってみることの大切さがよくわかりました。



毛布を利用した担架作りでは、子供さんたちの参加により、効果があがりました。



三角巾を使った応急処置の訓練には、西山柳原分署長が自ら指導にあってくださいました。

骨折をした時には添え木の代わりに雑誌を使えば、三角巾で相当の応急処置ができます。

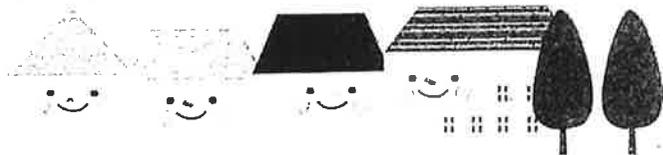
くどいようですが、訓練を通じて実際にやってみることは大切です。



講評を西山柳原分署長からいただき、訓練は予定どおり11時10分に終了しました。暑い中にも拘わらず訓練にご参加いただいた区民のみなさんに感謝を申し上げます。

当日奥山防災指導員が説明した、災害時に「各家庭で心がけること」をpdfで添付しました。
分かりやすくまとめてありますので、各家庭で印刷して、身近なところに貼って置いていただければ、いざというときに役に立つと思います。ご利用ください。

各家庭で 心がけること



隣近所とのつきあい

- ・近所の昼夜の家族構成、人数など
- ・近所の災害弱者[要支援者]

地区の危険個所の確認

- ・河川、建物、塀など

考えられる災害の認識

- ・地震、火災、水害など

避難場所の確認

- いっつき
・一時避難場所、広域避難場所など



非常持ち出し品の確保

- ・非常食、飲料、懐中電灯、ラジオなど

消火設備の充実

- ・火災報知器、消火器など

家具の転倒防止

防災訓練などに参加

その他各自が必要と考えること

避難する 家族の安否確認

消火の確認

非常持ち出し品携行

施錠の確認

隣近所声かけによる

安否確認・避難同行

(災害弱者含む)

災害発生

いっつき 近所をろって一時避難場所へ避難



いっつき

一時避難場所

まずは、家族単位での避難・安否報告(現在)
隣近所の未避難宅(者)の確認と報告



隣組長[または代行者]の任務

避難者隣組内の情報収集・確認

・人数、容態、安否の確認

・避難場所までの被害等の確認

・避難拒否者の氏名、人数、居場所の確認

常会長または代行者へ避難状況を報告

安全な避難場所の掲示・誘導

常会長[または代行者]の任務

(各区災害対策本部と協力)

常会内の隣組単位の避難者集計

・人数、容態、安否の集計

・地区内の被害等の集計

・避難拒否者の氏名、人数、居場所の集計

避難者の集計情報を本部へ報告

現在の安全避難場所の確認

安全な避難場所への避難誘導

安全な避難場所の告知、誘導・掲示

避難所ではみんなて扶助・協力・行動